

行橋みやこロータリークラブ

Rotary



週報 Weekly Report No.34

ロータリー特別月間  
6月  
ロータリー  
親睦活動月間



2025~2026 年度  
国際ロータリーテーマ

よいことのために手を取りあおう

少しの成長から始まります  
1.01 で成長、0.99 で衰退  
国際ロータリー第 2700 地区ガバナー  
濱野良彦

ベクトルを合わせ最善を尽くそう  
行橋みやこロータリークラブ会長  
藤原妃呂

本日のプログラム

出席報告

6月のお誕生日

本日のロータリーソング  
『奉仕の理想』  
6/10本日のプログラム  
クラブ協議会（1年を省みて）

5月27日  
会員数 52  
欠席者 24  
出席率 45%

山本道治（6日）松井明男（24日）橋本哲（25日）  
緒方みどりさま

6月17日クラブ協議会 / 6月24日最終夜間例会（青い林橋）  
7月8日クラブ協議会（役員・理事・各委員長挨拶）

会長の時間



私は去年あたりから、チャット GPT を仕事でもロータリー活動でも、またプライベートでも利用しております。そんな中、私にとって昨日ショッキングな事件が起きました。

ご存知の通り、あの巨人の阿部慎之助監督が、自宅で思春期の姉妹喧嘩の仲裁に入った時に、反抗してきた長女の胸ぐらを掴んで押し倒したとの事。そしてその直後に長女がチャット GPT に「父親から暴力を受けたが、どうしたらいいのでしょうか」というふうに質問し、その AI の答えが「無料で相談できる児童相談所がありますよ、電話してはどうですか」という回答を受けたようで、まだ 18歳高校生の事だから、その通りに連絡したようでした。

その後、その児相が内容に緊急性を感じ 110 番をして、阿部監督が現行犯逮捕されました。その夜に釈放されたみたいですが、監督はファンや球団に迷惑をかけたという理由で、涙ながらの辞任会見をされました。長く巨人軍の主将を務めて、スター選手として一時代を築いた後に監督にという王道の道を歩んできた方だっただけに、とても残念でした。

また長女に怪我はなく、父親との関係は良好だったこと、そして喧嘩をしてしまったこと、通報してしまったことなどの反省分を公表しておりました。

このような事件が起こって、私もチャット GPT を利用するのでよく分かるのですが、AI とチャットをしていると、人よりもずっと思いやりの言葉だったり、温かさを感じて、まるで画面の向こうに完璧で素敵な人間がいるように錯覚をしてしまうんですね。けれども AI は、あくまで情報整理・データ解析・学習補助は得意だけれど、参考にしない方がいい事柄があるということが今回わかりました。

まず一つ目、私たちが無意識に感覚を使って感じ取る力、例えば「この場では誰を立てるべきか」「今は正論より沈黙が大事か」「あえて言わない優しさが必要か」「表情や視線、上下関係」「地域文化や世代感覚」など総合判断している力です。特に日本人は空気を読む文化を大切にしておりますので、コミュニケーションをとって社会生活を行っております。

また二つ目は、生きた経験から出る重み。例えば「子育ての孤独」だったり「親を看取る経験」「夫婦の年月」や「経営の苦労」「地域で積み重ねた信頼」なども AI にはないと思います。

三つ目は人間関係の機微。「この人は今強がっている

- 創立 … 1984 年 4 月 3 日
- 例会日 … 水曜日（12:30~13:30）
- 例会場 … 青い林橋 行橋市中央 2 丁目 13-20 ☎0930-25-1539
- 事務局 … 行橋商工会議所別館 1 階 行橋市中央 1-9-50 ☎0930-25-0655  
FAX: 0930-25-5700 Email: info@ym-rotary.club URL: https://ym-rotary.club

- 会長 …………… 藤原妃呂
- 副会長 …………… 山田千恵
- 幹事 …………… 原田和博
- 会報雑誌委員長 …… 二十二 豊



## 難民キャンプへ

【JAC (カンボジア

元日本留学生同窓会)

ワコラ (Va Kora) 会

長あいさつ】私たちは

JAC (カンボジア元日

本留学生同窓会) と CSAJ (在日カンボジア留学生協会) です。本日、私たちは日本のロータリークラブと連携・協力し、この支援活動を実現いたしました。

この支援は、小さなビジネスを立ち上げてもらうための支援です。この支援を活用して生計を立て、利益を生み出し、さらにビジネスを大きく発展していただくことを、心から願っております。

3か月後、6か月後、あるいは1年後、監督や確認のためではなく、ただ皆さんの近況を伺いに来たいと思っています。

この貴重な支援をご提供くださった日本のロータリークラブ、そしてこのプロジェクトを準備・協力してくださったすべての方々に深く感謝いたします。

【黒水委員長のあいさつ】今回、皆さんに少しでも未来の希望を持っていただきたいなと思ひまして、本当にほんの少しですが、皆さんのために何か力になれることがあればと思ひまして、ここへ来させていただきました。今回はこういう機会をいただきまして、本当にありがとうございました。

### ワコラ会長インタビュー

**黒水 (以下 K) :** このパゴダに避難している 861 世帯の現状は、どういった状況でしょうか？

**ワコラ (以下 V) :** 戦争が勃発した時に、861 世帯がいました。今は戻った世帯が 200 ぐらいあります。620 数世帯ぐらいは今だに家に戻れない。その皆さんはレッドゾーンという危険なエリアに入っているので、いつ戻れるかどうか不明な状況です。

**K :** なんで今回は、屋台という支援を選んだんですか？

**V :** 聞き取り調査を行いました。皆さん家とかを失ったりして、ずっとここに長期いる状況の中で希望を失っている人たちなんで、長期的にその方々の助けになることを考えて、ちょっとした商売、今後の人生の希望を持って頂けるんじゃないかと思ひて、こういう支援をやっています。

**K :** 継続可能な支援。支援したあとも継続していけるようにということですね。

**V :** そうですね。支援したあと、例えばその商売が儲かった、そのお金でまた新たに買い出しをしてもらって、またビジネスを拡大して、どんどん皆さん生活がよくなっていくように考えています。

**K :** 持続できるというのが、やっぱり大切ですね。

**V :** そうですね。ただ渡して食べちゃって終わり、ではなくて。これがもし上手くいけば、彼らの持続的な支援になるんじゃないかなと思ひています。

**K :** 今回 25 世帯を

選んだんですが、

その理由は……。

**V :** 3つの基準があ

りまして、まずは

長期的にここに

いる方。長期的にとは、家を失っている、または戻れない、というのがまず第一。次に、生活に困っている人。そして 3 つ目は、これが大切なんですけど、自分で商売をしたい、やる気のある人。その 3 つの基準を満たすように選んでます。

**K :** 1 年後、2 年後、3 年後ってどういう風になっていると思ひますか？

**V :** 今、話を聞くと、ここにいる人たちがいつ戻れるかまだわからない状況なので、私たちは 3 ヶ月後、半年後、もしこのキャンプが残っている場合は訪問して、もう一回インタビューしてみようかなと思ひてます。

**K :** 行橋みやこロータリーとしても、その後の状況をやっぱり知りたいので、ご報告を。

**V :** そうですね。ぜひロータリーの皆さんも、例えばもし半年後旅行に来て、一緒に訪問できたら一番ベストな形ですね。

**K :** 日本の行橋みやこロータリークラブに何かメッセージがあれば、お願いします。

**V :** ロータリークラブの皆さん、今回支援していただき本当にありがとうございました。私たち JAC も、この活動を大使館にも報告します。大使も楽しみにしているみたいなので。今後もロータリーの皆様の活動を、私たちがどういう形で協力できるか、一緒に可能性を探って、一緒に協力し合って、カンボジアと日本を良くしていこうと思ひております。ありがとうございました。

**K :** はい、こちらこそありがとうございました。

## キャンプの様子

V (翻訳) : すごく嬉しい、助かります。これから、これをきっかけに商売を始めて、生活を立てるように頑張ります。子供にちょっとお小遣いとか、食べ物を買ってあげたりすることができるようになります。

K : 今の生活って、大変ですか？

V (翻訳) : 何をやろうとしてもできない状態なんで、大変です。

K : 戦争がなくなったら、やはり故郷に帰りたいですか？



V (翻訳) : 平和が訪れ、また家に帰れるようになったら帰りたい。別の場所、別の県に引っ越したくない。

K : やっぱり自分の

生まれ育ったところなんで、離れたくないですね。

V (翻訳) : 地雷とか、不発弾とかも、すごく危ないです。クラスター爆弾。子供がたくさんいるので、子供がどこで遊んで危ないかわからない。地雷はすごく危ない。このテントに3、4家族います。すごく狭いですね。以前、7月の時も、戦争、衝突が起きたんですけど、その時はもっと酷かった。テントもなくて、3日間テントなしだった。今はこれでも良くなっています。

K : 泣かないでください。(周囲から笑い)

V (翻訳) : 本当に嬉しいです。

K : 頑張りましょう、ありがとうございました。

V : こちらこそ、ありがとうございました。

## むすびに

この世の中には、私たちが理解できないことが沢山ある。それを受け容れ、理解し尊重し合うことで、繋がっていくのかもしれない。

支援を行った25軒の屋台のうち、多くの方々はそれぞれ新たな生活の場所へと歩みを進めていきました。

現在も、一軒の屋台がこのキャンプ地で営業を続けています。

支援とは、その場所にとどめることではなく、人々が再び前を向いて生きていくための「小さなきっかけ」なのかもしれません。あの日、ここで始まった小さな屋台は、確かに誰かの暮らしへとつながっていきました。

「この国境で、人は今日を生きている」



↑ Youtube

## ニコニコBOX

安永結美R : 親睦旅行はとっても楽しかったです。完全燃焼です♡

石田之茂R : 黒水Rお疲れ様でした。ありがとうございました。

工藤茂美R : 黒水さんありがとうございました。

長尾浩央R : 黒水委員長、引き続きのカンボジア難民支援と台北サンシャインRCとの友好宜しくお願い致します。

内田克彦R : 先日、古希のお祝いをシリーズでサプライズでして頂きました。

大鶴修二郎R : 黒水Rありがとうございます。親睦旅行楽しかったです。

緒方正憲R : 黒水委員長、ありがとうございます。

金澤 隆R : 黒水R大変お疲れ様でした。楽しく動画を見ました。

二十二豊R : ニコニコします。

田中聡樹R : 行橋みやこの国際奉仕活動が本格的になり嬉しい限りです。頑張ってください。

寺崎修司R : 黒水委員長、ありがとうございます。

原田和博R : 行橋みやこロータリークラブを代表してカンボジア迄行ってくれたことに感謝します。

藤原妃呂R : 黒水交際奉仕委員長カンボジア支援事業の詳細説明ビデオありがとうございました。素晴らしい取り組みだったと思います。

松井明男R : 黒水さんありがとうございました。

松山貞徳R : 会員旅行楽しかったです。川上委員長ありがとうございました。

村上哲二R : 黒水委員長ありがとうございます。

吉元新太郎R : ニコニコします。

渡邊豊文R : 黒水委員長、卓話ありがとうございました。ニコニコします。



ニコニコBOX  
5月27日の合計 18,500円  
累計 674,046円



ロータリークラブ presents  
「ピース・オン! DAYTIME」  
TUE 12:30-12:45

